

操船シミュレータ見学と神戸港

2022. 5. 19

日本クルーズ&フェリー学会事務局長 池田良穂

井本商運にお勤めの三石会員から、操船シミュレータを見に来ませんかとお誘いがあり、神戸の井本商運本社を訪れました。同社は、内航のフィーダーコンテナ船ネットワークを展開する急成長海運会社で、同社のコンテナ船には、フェリーやクルーズ客船に乗船すると必ずと言っていいほどの頻度で遭遇します。同社のホームページによると運航するコンテナ船は 26 隻余りで、全国 69 港余りを繋いでいるとのこと。運航船の船員の習熟のための施設として操船シミュレータとエンジンコントロール・シミュレータを新しく作ったといいます。欧米のクルーズ運航会社では、独自のシミュレータをもち、船員の技量向上を行っている事例は多いのですが、内航の貨物船会社ではまだ珍しいのではないのでしょうか。

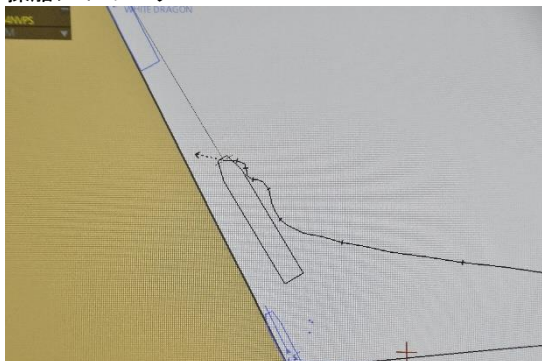
実際に、同社のコンテナ船を模擬したケースで、神戸港のコンテナふ頭に着岸する操船をさせてもらいましたが、素人にはなかなか難しいものでした。「ぶつけても大丈夫ですよ」と言われたものの、背中には冷や汗をかいてしまいました。ブリッジにたって操船しているのと同じ画像が前方、真横、真後ろの画面に見えるほか、上空からの俯瞰図、通過軌跡も確認でき、操船した後で復習としての「振りかえり」もできるので、きわめて効率よく操船の技量が学べるようです。井本商運では、これらの訓練施設を神戸海洋技術という別会社として運営し、自社船のための船員教育だけでなく、他社にも利用してもらえるようにするということでした。



操船シミュレータ



着岸操船時の鳥瞰画面



船の俯瞰図と、筆者操船時の軌跡(前進、後進、サイドスラスターをしましたが航跡が乱れています)



ブリッジのウィングからの後方画面

この機会に、神戸に港に面したホテルに 1 泊して、部屋の窓からの景色を堪能すると共に、本当に久しぶりに神戸港内の遊覧船にも乗ってみました。まだポートアイランドの東側のコンテナ埠頭や、六甲アイランドのコンテナ埠頭が整備されていなかった頃、港内は船で溢れており、神戸に出かけると 1 日に何度も遊覧船に乗って、船上から船の写真を撮ったものですが、次第に港の中心が東側の埋立地に移って、港内の船の姿は寂しくなり、ほとんど遊覧船に乗ることもなくなりました。当時の神戸港を巡る遊覧船は「あさかぜ」と「すずかぜ」の 2 隻でしたが、今は、中突堤中央ターミナルには 3 本の専用棧橋が整備され、「Boh Boh Kobe」、「ロイヤルプリンセス」、「御座船安宅丸」の 3 隻が港内遊覧船として稼働し、さらに大阪湾を明石海峡付近まで周遊するレストラン船として「シルフィード」と「ルミナス神戸 2」が運航されています。



当日、唯一運航していた港巡り遊覧船「ロイヤルプリンセス」に乗船しました。40 分で神戸港内を巡ります。



ジェットフォイルの「セブンアイランド夢」が造船所の一面に上がっていました。



中突堤には練習船「青雲丸」と「日本丸」が停泊していました。



かつては数多くの商船が建造された船台は資材置き場になっているようでした。



川崎重工の神戸造船所は、商船の建造からは撤退して、潜水艦の建造と修理が行われています。



川崎重工の岸壁では潜水艦救難艦の「ちよだ」が整備中でした。



川崎重工の浮きドックです。



兵庫突堤には内航貨物船がたくさん停泊していました。



和田岬にある三菱重工の神戸造船所も、商船の建造からは撤退し、潜水艦の建造・修理に特化しています。当日は、2隻の潜水艦の姿が見られました。



「ロイヤルプリンセス」の船内です。平日の昼の便でしたが、30名ほどの乗客が乗船していました。



遊覧船は、和田岬の関門から大阪湾にでて、西の関門から再び港内に入り、ポートアイランドの西岸に沿って北上しました。



かつてはコンテナ用ガントリークレーンが林立して、大型コンテナ船が並んでいたポートアイランドの西側のコンテナ岸壁には、大学等が誘致されて港の機能を失っていました。最近になって、岸壁整備が進み、クルーズ客船等の着岸も可能となっているようです。



[思い出の一枚]1970年代の同じポートアイランド西岸のコンテナ岸壁に並ぶコンテナ船隊です。これも港巡りの遊覧船の上から撮影しました。



新港第3突堤は宮崎航路と小豆島・高松航路のフェリー専用岸壁になっています。この日は、宮崎カーフェリーの新造船「フェリーたかちほ」とジャンボフェリーの「こんびら2」が停泊していました。



ポートアイランドと神戸市街地を結ぶ橋をくぐると、クルーズ客船が着く新港第4突堤のポートターミナルが見えます。



ポートアイランドには、タグボートや消防艇の泊地があり、大型巡視船「せつ」の岸壁があります。遊覧船は、ここでUターンして中突堤に戻ります。



港湾土木用の資材を運搬するプッシャーバージと出会いました。



プッシャーバージを追い抜いて橋をくぐると、新港第3突堤の西岸にはジャンボフェリーの「こんびら2」の姿が見えました。



新港第1突堤には水族館や温泉ホテルがたち、ウォーターフロントの開発が進んでいます。



中突堤の遊覧船乗場に戻りました。



ホテルオークラ神戸の20階の部屋の窓からの光景です。まだ、コロナ禍から脱却していないためか格安の料金で泊まりました。



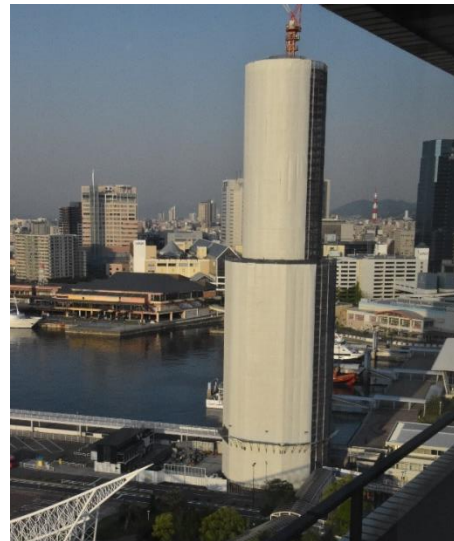
ホテルの窓からはパイロットボートや巡視艇がよく見えました。



モザイクの岸壁には「シルフィード」中突堤には「青雲丸」が停泊し、帆船「みらいへ」が出港していくのが見えました。



朝起きると、眼下にはレストラン船「シルフィード」と「ルミナス神戸2」が朝日に輝いていました。



隣に立っているはずのポートタワーは改修中でした。



中突堤中央ターミナルの棧橋から出港する神戸シーバスの遊覧船「Boh Boh Kobe」。2004年に建造された長崎港の三菱重工の社員輸送船「ぐらばあ」で、シップ・オブ・ザ・イヤー04の準賞に輝いたアルミ合金製の旅客船が、その前身。神戸のタグボート会社早駒運輸に売却され、傘下の神戸シーバスが運航している。

[思い出の神戸港巡り遊覧船・レストラン船]



7時過ぎに宮崎カーフェリーの「こうべエクスプレス」が入港してきました。



中突堤中央ターミナルの棧橋から出港する神戸ベイクルーズの遊覧船「御座船安宅丸」。



上から「ゆうかり」、「すずかぜ」、「パルデメール」。市栄正樹会員の撮影。

